

添付 5

三重県独自の調査様式による性感染症拡大サーベイランス調査結果

三重県保健環境研究所

山内昭則、高橋裕明

A. 研究目的

サーベイランスは、性感染症の発生・まん延の状況を明らかにするとともに、防止対策に必要となる科学的根拠を提供する手段として重要であり、現在の患者発生状況を考慮すると、若年層を中心とした患者発生動向を正確に把握できる仕組みに加えて、無症状病原体保有者を把握できる仕組みに改善する必要がある。

三重県では、平成 24 年 1 月より独自の調査様式（別記様式）による STD 定点医療機関からの患者情報の把握を行っているが、さらに検討・改善を行うため協力可能な医療機関に依頼し拡大サーベイランスを行った。

B. 方法

調査期間は、平成 24 年 9 月から 10 月の 2 ヶ月間とした。

依頼した医療機関は、定点の 17 機関に加え、事前アンケートにて協力可能と回答された 64 機関および過去の全数把握調査で年間 10 回（10 ヶ月）以上かつ 25 人以上の患者発生が報告された 15 機関の計 96 機関（皮膚・泌尿器科系 58 機関、産婦人科系 38 機関）とした。

調査様式は STD 定点医療機関で現在用いているものと同様とした。この様式では、医療機関全体の来院者数と各性感染症の検査件数を記入し、患者については各ケースごとに性、年齢、配偶者の有無、国籍、住居地、疾患名（性器クラミジアと淋菌感染症は症状の有無、性器、咽頭の区別）、その他の疾患（梅毒、HIV 等）、受診契機（パートナーが有症状、妊婦健診等）、その他の状況（性風俗産業従事者(Commercial sex worker : CSW)との接触、コンドーム不使用等）を選択又は記入することとしている。（別記様式）

C. 結果

53 機関（皮膚・泌尿器科系 30 機関、産婦人科系 23 機関）から協力が得られ、2 か月間の患者報告数は 263 人（男 114 人、女 149 人）であった。疾患別では性器クラミジア感染症が 150 人（有症状：男 38 人、女 66 人、無症状：男 11 人、女 35 人）と最も多く、淋菌感染症が 40 人（有症状：男 34 人、女 3 人（うち 1 人は咽頭感染）、無症状：女 3 人）、性器ヘルペスウイルス感染症が 35 人（男 13 人、女 22 人）、尖圭コンジローマが 33 人（男 18 人、女 15 人）の順で、その他の感染症として膣トリコモナス症が 5 人であった。混合感染例は男 4 人、女 3 人（クラミジアと淋菌混合感染：男 3 人、その他の混合感染：男 1 人、女 3 人）であった。

男性の性器クラミジア感染症における無症状者は 22%（11/49）で、その“受診契機”は「パートナーが有症状」が 64%（7/11）と多く、一部の医療機関に報告が集中する傾向があった。女性の無症状者は 35%（35/101）で、その“受診契機”は「妊婦健診」が 23%（8/35）、「パートナーが有症状」が 14%（5/35）で、「その他」9 人には不妊

治療（2人）が含まれていた。

年齢階級別にみると、男性では、性器クラミジア感染症は20代前半、淋菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症は30代後半、尖圭コンジローマは50代前半と、疾患により好発年齢層にばらつきがあったのに対し、女性では各疾患で20代が中心であった。20歳未満は、男4%（5/114）に対し、女11%（16/149、うち2人は10代前半）で、これらのうち女性の性器クラミジア感染症の半数（6/12）は無症状であった。

淋菌の検査数は、泌尿器科系ではクラミジアよりやや少ないレベルであったが、産婦人科系ではクラミジアの1/10程度であった。男性における“その他の状況”への回答は、「CSWとの接触」22%（25/114）、「コンドーム不使用」16%（18/114）が多かったが、「CSWとの接触」は10～20代では1人のみであり、30～40代が20人と多くを占めた。「同性間性的接触」の報告はなかった。（表4）

なお、以上の拡大サーベイランス結果は、定点医療機関の一年間（平成24年1月～12月）の集計結果における“受診契機”、“その他の状況”と比較すると、回答率が低かったものの、ほぼ同様の傾向を示した。

D. 考察

診療科により、受診者の主な性別はもとより受診に至る背景も異なるため、皮膚・泌尿器科系と産婦人科系に分けて集計したところ、患者把握状況の違いが明らかとなった。性器クラミジア感染症の有症状者と無症状者では男女とも年齢分布状況が異なり、受診に至る背景の違いを反映していることがうかがわれた。特に、男性の無症状者の報告は女性に比べ少数に止まっているが、報告が一部の医療機関に集中していたことから、パートナー検診勧奨の重要性が示唆された。（表2、3）

淋菌の検査数は、産婦人科系ではクラミジアの1/10程度であり、女性の淋菌感染症の無症状者の把握が少数に止まる理由の一つと考えられた。（表1）

E. 結論

淋菌感染症の無症状者については検査件数が少数に止まっていることから潜在化している可能性があり、これを顕在化するための対策が重要である。

性器クラミジア感染症における無症状者の割合は、女性では35%で、その受診契機は「妊婦健診」が23%（8人）、「パートナーが有症状」が14%（5人）で、「その他」（9人）には不妊治療（2人）が含まれていたこと、また、男性における“その他の状況”では、10～20代で「CSWとの接触」の割合が少ないにもかかわらず多くの感染者が報告されていることから、若い世代における性器クラミジア感染症のまん延が危惧され、パートナー検診の勧奨を推進することで無症状感染者の把握に努め、まん延防止対策に活かす必要がある。

三重県感染症情報センター宛(フリーダイヤルFAX番号:0120-*****)

医療機関名		受診者数		検査数		性感染症の患者を診断されなかった場合は、□にレ点を記入し、報告をお願いします。 報告例なし □													
				クラミジア		件		淋菌		件		次の項目で該当するものがあれば番号に○を付けてください。							
				人		梅毒		件		HIV		件		①その他の疾患 (注2)		②受診契機		③その他の状況	
患者 番号	性 別	年齢	配偶者 有	国籍	住所	疾患名（該当する欄に有症状は○を、無症状の場合は□にレ点を記入してください。）	性器クラミジア感染症 注1）検査陰性例	性器ヘルペス ウイルス 感染症 (再感染届出不要)	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症 注1）検査陰性例	性器・眼	咽頭	①：廻りコマナ症 ②：ケラチマ症 ③：梅毒 ④：HIV感染症/AIDS ⑤：HPV感染	1：有症状 2：パートナーが有症状 3：妊婦健診 4：人工妊娠中絶 5：キット等自己検査陰性 6：その他（ ）	1：異性間性的接触 2：同性間性的接触 3：マニピュル・カスカー 4： " " との接触 5：コンドーム不使用 6：パートナーが複数				
1	男	女	有	無	日本 外国	無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6					
2	男	女	有	無	日本 外国	無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6					
3	男	女	有	無	日本 外国	無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6					
4	男	女	有	無	日本 外国	無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6					
5	男	女	有	無	日本 外国	無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6					
6	男	女	有	無	日本 外国	無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6					
7	男	女	有	無	日本 外国	無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6					
8	男	女	有	無	日本 外国	無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6					
9	男	女	有	無	日本 外国	無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6					
0	男	女	有	無	日本 外国	無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6					

特記事項（特徴的な事例、患者に関する特記事項等があれば、ご記入ください。）

注1）性器クラミジア感染症、淋菌感染症について
●報告は、届出基準にある臨床的特徴を有し、かつ下記の検査陽性の患者の他、無症状の患者も届出をお願いします。
●性器クラミジア感染症：次の①の①～③、②の①～②のいずれかに該当する検査所見を認めるもの
①検査材料が尿道、性器から採取した材料の場合、又は咽頭ぬぐい液の場合
①分離・同定による病原体の検出 ②蛍光抗体法又は酵素抗体法による病原体抗原の検出 ③PCR法による病原体遺伝子の検出
②検査材料が血清の場合
①ベア血清による抗体陽転又は抗体価の上昇 ②単一血清で抗体価の高値
●淋菌感染症：尿道、性器から採取した材料、眼分泌物、咽頭拭い液で次の①～⑤のいずれかに該当する検査所見を認めるもの
①分離・同定による病原体の検出 ②鏡検による病原体の検出 ③蛍光抗体法による病原体抗原の検出 ④酵素抗体法による病原体抗原の検出 ⑤PCR法による病原体遺伝子の検出
注2）後天性免疫不全症候群および梅毒は5類感染症全部把握疾患に定められており、患者及び無症状病原体保有者を診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出ることとなっています。
注3）用紙が不足する場合は2枚目にご記入をお願いします。

表1 三重県独自の調査様式による拡大サーベイランス患者情報(平成24年9～10月)

疾患名		性	年齢階級別患者数														受診契機※						その他の状況※								
			0 9	10 14	15 19	20 24	25 29	30 34	35 39	40 44	45 49	50 54	55 59	60 64	65 69	70 以上	計	有 症 状	有 症 状 が バ ー ト ナ ー	妊 婦 健 診	人 工 妊 娠 中 絶	自 己 検 査 陽 性	そ の 他	性 的 接 触 間 断	性 的 接 触	同 性 的 接 触	C S W ※	C S W ※ の 接 触	不 使 用 コ ン ド ム	バ ー ト ナ ー が 複 数	
有 症 状	性器クラミジア感染症	男女			2	7	4	5	5	5	4	3	1	1	1	38	25	1						14					9	9	1
		男女	2	4	19	17	14	3	2	3	2					66	43	4	2	1	1	5		33		3			3	1	
	咽頭クラミジア感染症	男女														0															
		男女														0															
	性器ヘルペスウイルス感染症	男女		1				2	6	1	1			1	1	13	8	1						4				4	2		
		男女		1	4	6	3	4	1	1	1	2				22	17							5							
	尖圭コンジローマ	男女		1			3	1	1	2	3	5				18	3							1			1	1			
		男女		1	4	3	1	2	1	2				1		15	6		1			1		4		1					
無 症 状	淋菌感染症(咽頭を除く)	男女		1	6	3	5	9	4	3	3				34	22							15					9	5		
		男女		1		1									2	2							1								
	淋菌感染症(咽頭)	男女														0															
		男女														0															
	小 計	男女	0	0	5	13	10	13	21	12	11	11	2	2	3	0	103	58	2	0	0	0	0	34	0	0	0	23	17	1	
		男女	0	2	7	27	27	19	9	4	6	4	0	0	1	0	106	69	4	3	1	1	6	43	0	5	0	3	1		
	性器クラミジア感染症	男女				3	1	5	1	1						11		7					6				2	1			
		男女			6	8	7	5	6	3						35		5	8	2		9				2				3	
再 掲	咽頭クラミジア感染症	男女														0															
		男女														0															
	淋菌感染症(咽頭を除く)	男女														0															
		男女														0															
	淋菌感染症(咽頭)	男女														0															
		男女														0															
	小 計	男女	0	0	0	3	1	5	1	1	0	0	0	0	0	0	11	0	7	0	0	0	2	6	0	0	0	2	1	0	
		男女	0	0	6	8	9	5	7	3	0	0	0	0	0	0	38	0	7	8	2	0	9	10	0	2	0	0	3		
その他の感染症：膣トリコモナス		男女														0		1	1												
		男女			1	1	1		1	1					5		1	1													
総 計		男女	0	0	5	16	11	18	22	13	11	11	2	2	3	0	114	58	9	0	0	0	2	40	0	0	0	25	18	1	
		男女	0	2	14	36	37	24	17	8	6	4	0	0	1	0	149	70	12	11	3	1	17	56	0	7	0	3	4		
再 掲	クラミジア・淋菌混合感染	男女				1			1	1						3		3						1					2	2	
		男女														0															
	その他の混合感染	男女			1				1							1		1	1					1			1				
		男女					1	1		1	0	1	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	2	0	
混合感染 計		男女	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	4	4	1	0	0	0	1	2	1	0	1	0	0	0	

*泌尿器科13機関、皮膚科13機関、産婦人科23機関、その他の診療所(皮膚科を標榜)4機関からの報告数である。

※：「受診契機」及び「その他の状況」は無回答または複数回答を含むため患者数と一致しない。

※※：性風俗産業従事者

表2 三重県独自の調査様式による拡大サーベイランス患者情報(平成24年9～10月):皮膚・泌尿器科系

疾患名		性	年齢階級別患者数														受診契機※					その他の状況※								
			0 9	10 14	15 19	20 24	25 29	30 34	35 39	40 44	45 49	50 54	55 59	60 64	65 69	70 以上	計	有 症 状	が バ ー ト ナ ー 有 症 状	妊 婦 健 診	人 工 妊 娠 中 絶	自 己 検 査 陽 性	そ の 他	性 異 性 接 触	性 同 性 接 触	C S W ※	C S W の 接 触	不 使 用 ド ー ム	が バ ー ト ナ ー 複 数	
有 症 状	性器クラミジア感染症	男女			2	7	4	5	5	5	4	3	1	1	1	38	25	1							14			9	9	1
	咽頭クラミジア感染症	男女														0														
	性器ヘルペスウイルス感染症	男女			1				2	6	1	1			1	13	8	1						4			4	2		
	尖圭コンジローマ	男女			1		3	1	1	2	3	5			2	18	3							1			1	1		
	淋菌感染症(咽頭を除く)	男女			1	6	3	5	9	4	3	3				34	22							15			9	5		
	淋菌感染症(咽頭)	男女														0														
	小 計	男女	0 0	0 0	5 0	13 0	10 0	13 0	21 0	12 0	11 0	11 0	2 0	2 0	3 0	0 0	103	58 0	2 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	34 0	0 0	0 0	23 0	17 0	1 0
	無 症 状	性器クラミジア感染症	男女			2 1			2							4 1		3 1					1		3 1			1	1	
咽頭クラミジア感染症		男女														0 0														
淋菌感染症(咽頭を除く)		男女														0 0														
淋菌感染症(咽頭)		男女														0 0														
小 計		男女	0 0	0 0	0 1	5 0	2 0	2 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4 1	0 0	3 1	0 0	0 0	0 0	1 0	3 1	0 0	0 0	1 0	1 0	0 0		
その他の感染症：膣トリコモナス		男女														0 0														
総 計		男女	0 0	0 0	5 1	15 0	10 0	15 0	21 0	12 0	11 0	11 0	2 0	2 0	3 0	0 107	58 0	5 1	0 0	0 0	0 0	1 0	37 1	0 0	0 0	24 0	18 0	1 0		
再 掲	クラミジア・淋菌混合感染	男女				1			1	1					3 0	3							1			2	2			
	その他の混合感染	男女			1											1 0	1						1							
	混合感染 計	男女	0 0	0 0	1 0	0 0	1 0	0 0	1 0	1 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	4 0	4 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	2 0	0 0	0 0	2 0	2 0	0 0		

*泌尿器科13機関、皮膚科13機関、その他の診療所(皮膚科を標榜)4機関からの報告数である。

※:「受診契機」及び「その他の状況」は無回答または複数回答を含むため患者数と一致しない。

※※:性風俗産業従事者

表3 三重県独自の調査様式による拡大サーベイランス患者情報(平成24年9～10月):産婦人科系

疾患名		性	年齢階級別患者数														受診契機※					その他の状況※									
			0 9	10 14	15 19	20 24	25 29	30 34	35 39	40 44	45 49	50 54	55 59	60 64	65 69	70 以上	計	有 症 状	が バ ー ト ナ ー 有 症 状	妊 婦 健 診	人 工 妊 娠 中 絶	自 己 検 査 陽 性	そ の 他	性 異 性 接 触	性 同 性 接 触	C S W ※	不 使 用 ド ー ム	バ ー ト ナ ー 複 数			
有 症 状	性器クラミジア感染症	男女		2	4	19	17	14	3	2	3	2				0	66	43	4	2	1	1	5		33		3		3	1	
	咽頭クラミジア感染症	男女														0															
	性器ヘルペスウイルス感染症	男女														0															
	尖圭コンジローマ	男女			1	4	6	3	4	1	1	2				22	17							5							
	淋菌感染症(咽頭を除く)	男女														0															
	淋菌感染症(咽頭)	男女			1		1									2	2							4		1					
		男女														0															
	小 計	男女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無 症 状	性器クラミジア感染症	男女				1	1	3	1	1						7	34		4				1	3			1				
	咽頭クラミジア感染症	男女			6	7	7	5	6	3						0			4	8	2	9	8			2			3		
	淋菌感染症(咽頭を除く)	男女														0															
	淋菌感染症(咽頭)	男女														0															
		男女														0															
	小 計	男女	0	0	0	1	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	7	37	0	4	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0
	その他の感染症：陰トリコモナス	男女														0	5	1	1				2	3							
	総 計	男女	0	0	0	1	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	7	103	0	4	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0
再 掲	クラミジア・淋菌混合感染	男女														0															
	その他の混合感染	男女														0															
	混合感染 計	男女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		男女	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0

*産婦人科23機関からの報告数である。

※:「受診契機」及び「その他の状況」は無回答または複数回答を含むため患者数と一致しない。

※※:性風俗産業従事者

表4 拡大サーベイランスによる診療科区分別 年齢階級と受診契機およびその他の状況

			年 齢 階 級														総 計	
			10 14	15 19	20 24	25 29	30 34	35 39	40 44	45 49	50 54	55 59	60 64	65 69	70 以上	不 明		
性																		
拡大サー ベイランス （皮膚・泌尿器科系）	受診契 機	自覚症状有り	男		3	8	5	9	13	6	4	3		1			2	54
			女															0
		パートナーが有症状	男			2		1	1					1				5
			女			1												1
		妊婦健診	男															0
			女															0
		人工妊娠中絶	男															0
			女															0
		自己検査陽性	男															0
	女																0	
	その他	男						1									1	
		女															0	
	その他の状 況	異性間性的接触	男		3	7	5	7	7	3				1			2	35
			女			1												1
		同性間性的接触	男															0
			女															0
		性風俗産業従事者 （CSW）	男															0
			女															0
CSWとの接触		男			1		5	7	5	3	1						22	
		女															0	
コンドーム不使用		男		1	3	1	2	3	2	3	1						16	
	女															0		
パートナーが複数	男			1												1		
	女															0		

			年 齢 階 級														総 計	
			10 14	15 19	20 24	25 29	30 34	35 39	40 44	45 49	50 54	55 59	60 64	65 69	70 以上	不 明		
性																		
拡大サー ベイランス （産婦人科系）	受診契 機	自覚症状有り	男														0	
			女	1	5	11	20	16	5	3	4	3		1			69	
		パートナーが有症状	男			1	1	2										4
			女		1	4	1		3	1								10
		妊婦健診	男															0
			女		1	2	6	2										11
		人工妊娠中絶	男															0
			女		1	1		1										3
		自己検査陽性	男															0
	女						1										1	
	その他	男					1										1	
		女		3	5	3	1	1	2	1							16	
	その他の状 況	異性間性的接触	男				1	2										3
			女	1	7	11	16	10	4	3		2						54
		同性間性的接触	男															0
			女															0
		性風俗産業従事者 （CSW）	男															0
			女			3	2	1										6
CSWとの接触		男			1												1	
		女															0	
コンドーム不使用		男															0	
	女	1			2											3		
パートナーが複数	男															0		
	女	1				1	2									4		

